

第72回日本衛生動物学会大会

編集委員会

日本衛生動物学会は、第2次世界大戦中の昭和18年に発足し、カ、ハエ、ダニ、ネズミなど重要な感染症を媒介する衛生昆虫・動物、毒蛇、蜂、毒蛾などの有毒動物、ゴキブリ、ユスリカなどの不快昆虫類を研究対象とする衛生動物学の進歩、普及を図る事を目的として活動している学術団体です。毎年、大会を開催し、年4回学会誌を発行しています。ペストコントロール業界のシンクタンクとなっており、会員の先生方には協会理事、講習会の講師や協会誌に投稿していただいています。

第72回日本衛生動物学会大会は東京医科歯科大学において、令和2年4月17日～19の日程で開催される予定でしたが、新型コロナウイルスにより中止され、第71巻大会特集号のみ発行されました。

学会ホームページに掲載された開催中止のお知らせを掲載します。

大会開催に向け鋭意準備を進めてまいりましたが、この度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、本大会の開催につきまして慎重に検討を進めた結果、苦渋の決断ではございますが、第72回日本衛生動物学会大会の開催を中止とさせていただくことを決定いたしました。

本大会の開催にあたり御協力、御支援いただいた皆様に、またご参加を予定の皆様にはご迷惑をおかけし大変恐縮ではございますが、何卒ご理解ご了承の程お願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復と終息をお祈りいたします。

令和2年3月18日
第72回日本衛生動物学会大会
大会長 岩永史朗
日本衛生動物学会
学会長 澤邊京子

第72回日本衛生動物学会大会

衛生動物学会賞：有害生物の生態に関する調査・研究

金山彰宏(元横浜市衛生研究所)

佐々賞：シカの排除がマダニ類へ及ぼす影響 —シカ密度を操作した野外実験による検証

松山紘之(東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

大会シンポジウム「ポストNGSの衛生動物学」

オーガナイザー 藤田龍介(九州大学大学院 衛生昆虫学分野)

・ 遺伝子・ゲノム・集団～NGSによる衛生害虫のゲノム解析

糸川健太郎(国立感染症研究所 病原体ゲノム解析センター)

・ 感染症対策に向けた現代と過去のRNAウイルスの探索

堀江真行(京都大学 白眉センター)

・ 吸血性節足動物の保有する多種多様なウイルスの世界

小林大介(国立感染症研究所 昆虫医科学部)

・ 生体内の感染症疫学

岩見真吾(九州大学大学院数理生物学研究室)

市民公開講座「デング熱の流行：考え得るシナリオと流行に対する備え」

オーガナイザー 岩永史郎(東京医科歯科大学 国際環境寄生虫病学分野)

・ デング熱媒介蚊の媒介生態

津田良夫(国立感染症研究所 昆虫医科学部)

・ 2014年の事例紹介

沢辺京子(国立感染症研究所 昆虫医科学部)

・ デング熱の臨床

忽那賢志(国立国際医療研究センター)

一般講演

(蚊)

・ ヒトスジシマカ成虫の生息密度に対する植生(雑草等)管理の効果

武藤敦彦(日本環境衛生センター)

・ 東京2020オリ・パラリンピックを見据えたデング熱媒介蚊駆除訓練

葛西真治(国立感染研)

・ 東京都におけるコガタアカイエカ調査結果(平成27年～令和元年)

井口智義(東京都健康安全研究センター)

- ・東京都感染症媒介蚊サーベイランスにおける蚊幼虫等調査結果
高橋久美子(東京都健康安全研究センター)
- ・福岡市内神社野外コンサートにおけるヒトスジシマカ対策について
荻野和正(サニックス)
- ・猛暑の夏 ヒトスジシマカは繁殖を停止した
都野展子(金沢大学自然科学研究科)
- ・東京都におけるアカイエカ群の分子生物学的分類(令和元年)
田中 優(東京都健康安全研究センター)

(ネズミ)

- ・都市のドブネズミ
谷川 力(イカリ消毒)

(アリ)

- ・アリ類9種の餌水なし条件における生存期間および殺虫剤効力試験法に及ぼす影響
富岡康浩(イカリ消毒)

(殺虫剤)

- ・テネベナール5%フロアブル剤を用いたチャバネゴキブリ難防除物件における防除事例
佐々木健(アベックス産業)
- ・新規殺虫成分テネベナールTMを有効成分とした抵抗性トコジラミ駆除剤の開発
菅野夏基(アース製薬)
- ・空間処理型ゴキブリ駆除剤の開発 第1報
原田悠耶(大日本除虫菊)
- ・空間処理型ゴキブリ駆除剤の開発 第2報
三石帆波(大日本除虫菊)

(ダニ)

- ・SFTS感染ネコの周辺環境におけるマダニ相およびSFTSウイルス調査
木村俊也(福岡県保健環境研究所)
- ・宮城県の公園緑地環境から採取した蚊およびマダニ類におけるデングウイルスおよびSFTSウイルス調査
森本素子(宮城大)
- ・千葉県で確認したマダニ類とマダニ媒介リケッチア
竹村明浩(千葉県衛生研究所)

(防除)

- ・屋内のライトトラップの設置高が飛翔昆虫類の捕獲数に及ぼす影響

木村悟朗(イカリ消毒)

(その他)

- ・ネッタイトコジラミ、ツバメトコジラミによる刺症における皮膚反応に関する検討

夏秋 優(兵庫医大)

- ・ツバメ類の巣内より採集された節足動物～特にトコジラミ類について～

小松謙之(シー・アイ・シー)

